

いま、 学校と社会をつなぐとは

2021. **9.18** (SAT) 14:00 - 16:40

河合塾と桐蔭学園理事長・溝上慎一先生は、2013年から「学校と社会をつなぐ調査」（通称：10年トランジション調査）を継続的に実施しています。これは、高校生の成長を、高校2年生から大学卒業後3年までの約10年間にわたって追跡する調査です。2018年に実施した大学4年時調査では、「高校2年時から大学4年時までの間で、資質・能力は大きくは変化しない」ことなどが明らかとなり、高校段階までの間に生徒の資質・能力を育てておく重要性が示唆されています。最終となる今年2021年秋は、社会人3年目の調査を実施する予定です。

そこで、最終調査を間近に控えた今、高校2年生から大学4年生までのこれまでの調査を、溝上先生と高校2年時の調査分析協力者の立命館大学産業社会学部教授の柏木智子先生に振り返っていただくとともに、基調講演として、28プロジェクトで有名な品川女子学院理事長の漆紫穂子先生から生徒と社会をつなぐ学校づくりについてご講演いただき、学校から社会へのトランジションについて議論を深めていきます。

高校・大学等教育関係者の皆様、企業の人材開発担当の皆様などのご参加をお待ちしています。

対象 中学校・高校教職員、大学教職員、企業の人材育成担当者の方

会場 オンラインセミナーシステム「Zoomウェビナー」を使用

募集人数 300名 ※定員に達し次第締切となります。

参加費 無料

プログラム(予定)

(1) イントロダクション

溝上 慎一 先生

(2) 基調講演

「子どもの未来と社会をつなぐ、これからの学校教育のあり方」

漆 紫穂子 先生

(3) 調査分析報告

「学校と社会をつなぐ調査から見えてきた、教育を考えるポイント」

柏木 智子 先生

溝上 慎一 先生

(4) ディスカッション

(5) まとめ「最終調査に向けて」

溝上 慎一 先生

ご登壇者



溝上 慎一 先生
桐蔭学園 理事長

学校法人桐蔭学園 理事長、桐蔭横浜大学 学長・教授、学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問。「学校と社会をつなぐ調査」プロジェクト企画者。京都大学博士(教育学)。専門は、青年心理学、教育実践研究(学びと成長、アクティブ・ラーニング、学校から仕事・社会へのトランジションなど)。



漆 紫穂子 先生
品川女子学院 理事長

学校法人品川女子学院 理事長。2006年に校長に就任し、2017年より現職。同校では教育の柱として、「28プロジェクト～28歳になったときに社会で活躍する女性の育成」を提唱し、28歳の自分を思い描き、その実現に向けて能動的に人生を設計できるように、起業体験プログラムや企業等と連携した特別講座など、生徒と社会をつなぐ学校づくりを実践している。



柏木 智子 先生
立命館大学 教授

立命館大学産業社会学部 教授。専門は教育学、教育経営学、地域教育学。主な研究テーマは、困難を抱える子どもとケアする学校・地域づくり。主著に、『子どもの貧困と「ケアする学校」づくり』（明石書店、2020年。2021年度日本教育経営学会 学術研究賞）など。

■参加申込み方法

下記のURLまたはQRコードよりお申し込みください。

https://be-a-learner.com/event/trans_2021/

■申込期限 2021年9月6日(月)23:59



■お問合せ先

学校法人河合塾 教育研究開発部 Be a Learner運営担当

E-mail: be-a-learner@kawai-juku.ac.jp

TEL: 03-6811-5531